

羽ばたけ
大空へ

財団
月報

第100号

二つの「元年」を迎える年に

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

理事長 風呂井 敬



皆様、あけましておめでとございます。

旧年中は、当財団の運営に對しまして皆様方からの温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。

また、昨年の西日本豪雨、北海道胆振(いぶり)・東部地震、台風21号などの被害により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますと、ともに、被災された方々、被災地の一刻も早い復旧・復興を願っております。

さて、当財団は、公益財団法人として、鹿屋体育大学の教育の振興に資するために必要な助成、体育・スポーツ活動において優れた成績を収めた学生及び競技団体に対する奨学金の給付等を行うとともに、同大学における体育・スポーツの振興と競技力の向上に資する事業を展開し、併せてスポーツクラブの育成など地域スポーツの振興並びに国民の健康及び体力の増進に寄与することを目的とした事業を行っております。

その成果は、学生諸君や先生方の日々の努力の賜物であることはもちろんですが、同時にこれまでの保護者の皆様、企業の皆様方からの温かいご支援ご協力があつたからこそ深く感謝しております。

今年は、30年あまり続いた平成から新たな元号に改められての「元年」を迎えます。西暦では、2018年から2019年と1年加算されるだけなのですが、昭和から平成になった時には、何か時代そのものが変わってしまったような気分になりました。

また、スポーツ庁で検討されていた「日本版NCAA(全米大学体育協会(NCAA))を参考に

編集・発行／公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬



鹿屋の風を全国へ

国立大学法人鹿屋体育大学 学長 松下 雅雄

新年明けましておめでとうございます。旧年中は鹿屋体育大学を応援、ご支援いただき誠にありがとうございました。

平成三十一年は千支の十二番目である亥年になります。亥年は、今の繁栄している状態を維持するように守りに徹したほうが良い年とされているそうです。しかし、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が翌年の八月、そして、ここ鹿屋

島県では国民体育大会が十月に開催されます。今年には鹿屋体育大学にとつて、亥が皆様ご存知の動物の猪であるように、時には猪突猛進で進むことが必要な年であるかもしれません。

二〇二〇年に向け勿論のこととして期待もされるでしょうが、体育を専門とする本学として教育研究の成果を発揮するべきであると考えます。

本学では、オリンピック・パラリンピック教育として、平成二十六年から国際スポーツアカデミー事業を毎年開催し、主にアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を対象としたオリンピックチームメンバーの普

及に取り組んでおりまして、平成二十七年から大学にオリ・パラ戦略推進室を設置し、オリ・パラ推進事業としての学生リーダー育成事業、及び、地域住民へのオリンピック・パラリンピック啓蒙活動として「障害者サッカー」や「オリンピックと野球」などの公開講座を開講。さらに、地元自治体と連携・協力し、オリンピック事前合宿の誘致に積極的取り組み、その成果として、鹿屋市はタイ王国女子バレーボールチームのホームタウンとして事前合宿地となる覚書を交わすことになりました。

平成二十七年に設置されたスポーツパフォーマンス研究センターでは、陸上競技や野球を中心に年間四十数名のオリンピック・トップ選手の測定・分析を実施していきま

す。今後はさらに、従来から日本のトップ選手の測定・分析を行ってきたいる屋内実験プール、スポーツトレーニング教育研究センターにこのスポーツパフォーマンス研究センターも加え、オリ・パラや国体の競技力

向上に向けた科学的なトレーニングへの情報を提供できるように取り組みたいと考えます。

また、平成二十七年から大学にオリ・パラ戦略推進室を設置し、オリ・パラ推進事業としての学生リーダー育成事業、及び、地域住民へのオリンピック・パラリンピック啓蒙活動として「障害者サッカー」や「オリンピックと野球」などの公開講座を開講。さらに、地元自治体と連携・協力し、オリンピック事前合宿の誘致に積極的取り組み、その成果として、鹿屋市はタイ王国女子バレーボールチームのホームタウンとして事前合宿地となる覚書を交わすことになりました。

昨年四月に、この鹿屋の地で「地域に密着したスポーツ文化の発展を願う鹿屋市と創設したブランド「Blue Winds(ブルー・ウィンズ)」も二年目を迎えます。南国の青い空や海、風をイメージし、大学のスタールカラーと勝利(ウィン)をかけたブランド名とともに鹿屋のこの風が

全国へ吹いていくよう、日本におけるスポーツの発展のため、体育専門の大学として教育・研究・社会連携に積極的に取り組んで参ります。

本年もご指導、ご支援をどうぞよろしく願っています。

また、平成二十六年から国際スポーツアカデミー事業を毎年開催し、主にアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を対象としたオリンピックチームメンバーの普

わかくさ

大学2年の夏、親友と2人で20日間の周遊券を利用して北海道を旅行した。修学旅行を除いて九州を出るのは生まれて初めて。移動手段はもちろん列車。鹿児島を夜行列車で出発し博多で新幹線に乗り換え新大阪へ。次は日本海周りの特急列車で青森、最後は青函連絡船で函館へ到着する約30時間の長旅だった。私の旅行は割と気の向くままに行動するのでその時も寝袋を携えて野宿覚悟の旅だったが、運が良かったのか2回程その可能性があつたがどちらも免れた。最初の阿寒湖では、ユースホステルのアルバイト学生のご厚意により食堂に布団を敷いて寝かせてもらった。その代わりに彼らは廊下に雑魚寝したと翌朝聞いて申し訳なく思った。次の稚内では、全く泊まる当てがなかったが、偶然1週間前に大雪山の麓にある層雲峡で泊まった民宿で知り合った大学生と公園で出会い、その人の定宿の民宿に案内された。今回はベッドに寝かせてもらえ、その上ミーティングと称した飲み会の酒まで振る舞ってもらった。その後も道内を回り多くの地元の方々や他大学の学生とのふれあいを通して色々なことを学ぶことができた。学生時代のよき思い出となった。学生の皆さん、人生の中で学生時代ほど自由に時間を使える期間はありません。課外活動に打ち込む合間に旅行等してみてはいかがですか(Y・F)

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

スポーツを愛するすべての人とともに

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

ウインドサーフィン部 穴見知典さん

快挙! 日本人初の世界チャンピオン誕生!!

ウインドサーフィンの世界大会The Professional Windsurfers Association World Tour 2018において、今年から正式種目となった「フォイル」のU21クラスで、鹿屋体育大学ウインドサーフィン部所属のJWA（日本ウインドサーフィン協会）にプロ登録している穴見知典さん（スポーツ総合課程4年）が、見事初代チャンピオンの座「Professional Windsurfers Association World Tour 2018 Mens Foil Youth Champion（PWAワールドツアー-2018 メンズフォイル ユース チャンピオン）」を獲得しました。日本人選手がPWA（プロ・ウインドサーファーズ・アソシエーション）が主催する世界大会で年間王者になるのも初めての快挙です。

この「フォイル」という種目はウインドサーフィンのボードの下に水中翼を付けたスタイルで、弱い風でも進みやすく、ボードが浮上走行するように見えるもので、穴見さんは2015年からこのスタイルの世界大会に挑戦してきました。今年は、5月から10月までの半年間で4戦に出場し、1位が2回、2位が2回という好成績の結果、年間チャンピオンの座を獲得したものです。

穴見さんは今回の結果を振り返り「世界大会に挑戦し、自分を鍛える事为目标に取り組んできました。思いがけない受賞となり嬉しく思っています。お世話になっている方への良い報告ができました。更なる上位を目指します」と益々の活躍を誓いました。また、穴見さんが所属するウインドサーフィン部顧問教員榮楽洋光講師もこの吉報に「日々の地道な活動が成果に繋がったと思います。引き続き世界チャンピオン（年齢制限無し）目指して頑張ってください」とエールを送りました。



11月26日、鹿児島県庁にて、鹿屋体育大学と鹿児島県との「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」を活用した陸上競技の競技力向上に係る連携協定の締結式を行いました。本協定は、平成31年4月に曾於郡大崎町にオープンを予定しているトレーニングセンターを活用し、陸上競技の競技力向上と大隅地域の活性化を図るものです。

同大学より松下雅雄学長、原田耕蔵理事、前田明学長補佐、県より三反園訓知事、川野敏彦PR・観光戦略部長が出席して行われた締結式で、



握手を交わす松下学長(左)と三反園知事



は、協定書へ署名を行って、施設の発展に尽力することを確認し、握手を交わしました。その後、三反園知事と松下学長双方の挨拶では、同大学の「スポーツパフォーマンス研究センター」を中心とした科学的サポートについて言及し、この締結機に継続的なサポートが行われることが確認されました。

鹿児島県と陸上競技の競技力向上に関する連携協定を締結

決勝戦は、昨年の優勝校の日本体育大学を破り決勝に進出した明治大学と対戦。先鋒から大将までの5人の対戦では、1勝1敗と勝負は決まらず代表戦へもつれこむ接戦となりました。数分の間

の道りは楽しいことだけなく、苦しいこともありましたが、最後まで諦めずに戦い続けることができました。また、たくさんの方々の思いや応援があったからこそこの優勝でもあります。日本一という目標を達成できて



本大会へは地方大会を勝ち抜いた56チームが参加でき、同大会は九州大会王者として出場しました。

九州大会では優勝したものの、課題がたくさん残り不安な気持ちもあつたという松本さん。大会を振り返り、「優勝までの道りは楽しいことだけなく、苦しいこと

優勝 全日本女子学生剣道優勝大会

11月11日、第37回全日本女子学生剣道優勝大会が春日井市総合体育館（愛知県）で開催され、鹿屋体育大学剣道部（女子団体）が3年ぶり10回目の優勝を果たしました。

サッカー部 樋口雄太さん

Jリーグ サガン鳥栖に加入内定!



鹿屋体育大学サッカー部所属の樋口雄太さん（スポーツ総合課程4年）が、Jリーグのサガン鳥栖へ加入することが内定しました。

樋口さんは1年生の頃から精度の高いキックと豊富な運動量で攻守にわたり活躍し、4年生では副キャプテンを務めました。特に平成30年8月に行われた全日本大学トーナメントでは鹿屋体育大学のベスト8入りに大きく貢献。また個人としても今年度の九州大学リーグで技能賞を受賞しています。

協議会冒頭の中西茂鹿屋市長と松下雅雄学長からの挨拶においては、5月開催の「かのやエンジョイスポーツ」や11月開催の「カレッジスポーツデー」等の本年度新たな始まった地域活性化のための事業の成功について、双方から喜びの言葉が述べられました。



挨拶をされる中西市長



11月27日、鹿屋体育大学と鹿屋市との連携協議会を鹿屋体育大学にて開催されました。本協議会は、相互の人的・知的資源の交流・活用を図り、緊密な連携・協力関係の構築を目的とした協定に基づき毎年開催しているものです。

度以降の活動計画等について説明。平成30年7月末に来学したタイ王国女子バレーボールナショナルチームとの交流や、スポーツ合宿まちづくりに推進事業といった、

2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会とごしま国体に向けての意欲的な取り組みについて、活発な意見交換が行われました。

鹿屋市との連携協議会を開催

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日 毎週水曜日・土曜日 AM 8:30~9:00 PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 電話(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL 鹿屋自動車学校

すべての消費者のために!!

MOVE It's your future 寿スポーツ

鹿屋市元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

鹿屋農業高校 寿自動車学校 バイパス ドラッグイレブン

汲取の御注文 浄化槽の管理

水質安全に全力投球

株式会社 西日本浄化サービス

代表取締役 田中ふみ子 鹿屋市王子町4531-2 TEL(0994)43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかごしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

屋内実験プールで

東京2020応援プログラムが開催

11月18日、鹿屋体育大学屋内実験プールにて東京2020応援プログラム「鹿屋で世界を体験しよう！水中スクーター体験」が開催されました。このイベントは、アテネオリンピック金メダリストの柴田亜衣選手などを輩出し、また、オリンピック選手が定期的に測定に訪れるプールを一般の子どもたちにも体験してもらおうと、同大学学生の本原沙織さん（スポーツ・総合課程4年）を中心に学生主体で企画されたもの。イベント講師は、同大学卒業生で、現在、日本で唯一のプール専門水中フットグラファー・西川隼矢氏（株）RockinPool代表取締役が務めました。プログラムは、前半に西川氏の講演が行われ、水中アートや水上エクサ

サイエンスの紹介などがあり、後半の水中体験会では、初めて使う「水中スクーター」に最初は苦戦する参加者でしたが、西川氏や同大学水泳部員をサポートのもと、最後には水中に設置されたフラフープを潜り抜けるタイムアタックの上級者コースにも果敢に挑戦する姿も見受けられました。



参加者による水中スクーター体験の様子



東京2020PRツールである横断幕と共に

タイムアタックの入賞者に賞品と参加賞が配られた閉会式では、参加した子どもたちからは「また参加したい」という感想が多く聞かれ、参加者にとっても貴重な時間となりました。

鹿屋体育大学とJAL

「剣道セミナー」共同開催

11月20日から23日、鹿屋体育大学と日本航空株式会社（JAL）と表記は海外出身の剣道家を対象とした剣道セミナーのモニターツアーが共同開催されました。このツアーはJALの地域活性化プロジェクト「JAL 新・JAPAN PROJECT」として企画され、これまでに数々の優秀な実績を収めている鹿屋体育大学剣道部にJALから声がかかり共同開催の運びとなったもの。初開催の今回は韓国とシンガポールから2名が参加しました。

初日の20日、参加者はJALのスタッフとともに松下雅雄学長を表敬訪問し、受け入れに対する

お礼や自身の日頃の稽古について終始和やかな雰囲気でした。その後、同大学剣道部との合同稽古に入り、参加者は大勢の部員とともに同大学オリジナルの三段稽古をはじめ、互格稽古などを行い、先生方や部員と共に約2時間の稽古で汗を流しました。

4日間のツアーでは合同稽古のほか、同大学学生と共に剣道の形や講義・実習を受講。さらに、鹿屋市剣道連盟ともタイアップして一般稽古会へ参加するなど、市民とも交流を深めました。



参加者練習の様子

東京2020応援プログラム「小宮山氏・黒木氏による野球イベント」開催

11月18日、鹿屋体育大学野球場にて東京2020応援プログラム「小宮山氏・黒木氏による野球イベント」が開催されました。

このイベントは、2020東京オリンピックで野球が復活することをうけ、地域へのオリंपピック教育の一環として、講演会と野球教室を開催しオリंपピックの意義について考えることを目的としたもの。講師として、千葉ロッテマリーンズなどで活躍した小宮山悟氏

（早稲田大学野球部監督）、黒木知宏氏（野球評論家）を招き、講演会には約100名が、野球教室には鹿児島県内の中学生50名が参加しました。

講演会では、2000年シドニーオリंपピック野球競技日本代表の黒木氏から、シドニーオリंपピックで経験したことのエピソードを交えながら、準備することの大切さを分かりやすく伝えられました。また、元MLBニューヨーク・メッツ

の小宮山氏からは、東京2020大会で野球競技が復活することに至るまでの経緯やオリंपピックで野球競技を行うことの意義について話されました。質疑応答のコーナーでは、ピンチを乗り越える時の心構えや怪我をしないための体づくりについてなど、子どもたちや保護者から積極的な質問があり、現役で活躍したプロ野球選手の貴重なアドバイスをうかがうことができた良い機会となりました。

最後に、日々の積み重ねの重要性や周囲の方々への感謝の気持ち忘れな



講演会の様子（左：小宮山氏、右：黒木氏）



開会式の様子

課外活動団体紹介



セパタクロー部

セパタクローという競技をご存じですか？日本ではまだ競技人口も少なく、マイナーなスポーツと言われており知っている方は少ないと思います。“空中の格闘技”と称されるセパタクローは9世紀頃から東南アジアを中心に盛んに行われています。セパタクローは「足でするバレーボール」と言われるように、プラスチックのボールを手以外を使ってネットを挟んだ相手コートに落とし合うスポーツです。試合は主に3対3で行われ、バレーと同じようにサブで試合が始まり、レシーブやトス、アタックやブロックを繰り返しながら点を取り合います。セパタクローの魅力はなんと言ってもその“アクロバティクさ”にあります！！サッカーのオーバーヘッドキックのようなローリングアタックや足を交差させて打つツンガスアタックなどアクロバティックな動きが満載で、ネット際でのその攻防はまさに“空中の格闘技”です！

現在、鹿屋体育大学セパタクロー部は部員が10人以下ととても少ない人数で活動しています。経歴も様々で、高校までは野球やサッカー、陸上やボートなど別々の競技をしていた人ばかりで全員が大学からセパタクローを始めました。しかし、日本のセパタクロー競技者のほとんどが大学から始めておりスタートラインは変わりません。また、小さなボールを足で扱うという難易度が高い競技であるからこそ、自分自身で出来なかったことが出来るようになっていくのが実感でき、日に日にセパタクローという競技にのめり込んでいきます。

セパタクローの魅力をもっと多くの人に知って貰えるように、毎週金曜日には地域の方々へのセパタクロー教室も行っています。興味のある方はぜひお越しください！部員一同お待ちしております！！

Kubota 農業機械 株式会社 三木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う
運転免許のことなら

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

TEL 0994-43-2627 E-mail : info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

何か物足りない、何か決め手に欠く、
そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に徹する
株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL http://www.shinsei-p.co.jp E-mail kan@shinsei-p.co.jp

福岡・熊本・鹿児島・宮崎・国分・川内・都城・奄美・種子島・屋久島
大分・指宿・南薩・志布志・南大隅・串間・日南・出水・始良・曾於

外国人留学生支援交流会を実施

鹿屋体育大学では、11月22日、平成30年度留学生支援交流会を実施しました。

第一部として、実際に日本の文化を体験し、その理解を深めることを目的とした「日本文化体験」には、留学生8名とチューター2名が参加し、今年は「着物着付け」と「折り紙」を体験。「着物着付け」は横尾優子氏と菅野暉氏、「折り紙」に松元瑠璃子氏を講師に迎えました。

着物着付け体験では、講師より礼装から訪問着についての基礎知識、家紋の数が増えるほど格調が高いことになること等の説明の後、講師に手伝っていただきながら着互に一層の異文化交流への理解が深まり、盛会のうちに終了しました。

第二部の留学生支援交流会には、留学生やチューターは着物姿で参加。関係団体や日頃留学生がお世話になっている地域住民の約50名をお招きし、交流や情報交換、自己紹介、感謝の意を伝えました。終始、和やかな雰囲気で行われ、相互に一層の異文化交流への理解が深まり、盛会のうちに終了しました。

この大会は、大隅地区のキッズや少年との交流を通じて、サッカーの発展と普及を図り、また、体力と精神の鍛錬の機会となることを期待するとともに、大会運営を通して大学生の指導力を向上させることを目的として毎年開催されています。今年も、U-12に16チーム、U-9に12チームが参加し、約350名の子どもたちが日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。また、プレーに指導者や保護者の笑いも誘い、会場は一日中笑顔と歓声に包まれました。



お着物での集合写真



折り紙体験の様子

【学内共同教育研究施設だより】 だから、図書館に行こう!!

附属図書館長：山田 理恵

本学附属図書館は、学習や研究活動に必要な専門書・専門雑誌、一般教養書、映像資料等を数多く取り揃えており、学生や教職員、地域のみならずの多様なニーズに応えるべく、最新のデジタルコンテンツやデータベース等も提供し、インターネットを介しての場で雑誌記事や論文を読むことができ、電子書籍(e-book)も充実しています。また、全国の他大学図書館や国立国会図書館との連携による資料の取り寄せや複写依頼なども可能です。

ところで、図書館は一人で静かに本を読み勉強するところ、と思いませんか? 今、図書館は、アクティブなスペースとして注目されています。当館でも、プロジェクト等を備えたグループ学習の空間を提供しており、ディスカッションやプレゼンテーションの場としてご利用いただけます。ぜひ、館内でのアクティブ・ラーニングを体験してみてください。

みなさんから、「だから、図書館に行こう!!」と思っていただけのような附属図書館をめざしています。図書館職員が懇切丁寧に利用方法を説明いたしますので、積極的に来館をお待ちしています。開館時間等については、当館Webサイトでご確認ください。



繰り広げられた熱戦



「サッカークリニック」の様子



U-12優勝の「太陽鹿屋SC」と決勝戦の様子

学長杯サッカー大会を開催

11月23日、鹿屋体育大学学長杯サッカー大会(第24回大隅地区少年サッカー大会及び第11回大隅地区キッズサッカー大会)が同大学で開催されました。

この大会は、大隅地区のキッズや少年との交流を通じて、サッカーの発展と普及を図り、また、体力と精神の鍛錬の機会となることを期待するとともに、大会運営を通して大学生の指導力を向上させることを目的として毎年開催されています。今年も、U-12に16チーム、U-9に12チームが参加し、約350名の子どもたちが日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。また、プレーに指導者や保護者の笑いも誘い、会場は一日中笑顔と歓声に包まれました。

試合の間には、恒例となった同大学サッカー部員による「サッカークリニック」が行われ、子どもたちと一緒にプレー向上のコツ等を指導。遠慮なく挑戦してくる子どもたちに見受けられる等、双方に充実の時間となりました。

成績一覧		
	U-12	U-9
優勝	太陽鹿屋SC	SOLTIERA FC
準優勝	鹿屋小SSS	A.S.K
3位	FC MAROLAとA.S.K	NST FCとFC MAROLA

平成30年12月号の4面記事「オリンピック・パラリンピックに関する講演会及びボランティア説明会報告会を開催」において誤りがありました。左記のように訂正してお詫び申し上げます。

- 学内行事 2月**
- 2日 公開講座「バレーボール・ウィンター・キャンプ」(～3日) 東京 SC 公開講座「一流選手の特徴から学ぶ～伸びる子どもを育てる方法～」
 - 5日 期末試験 (～12日)
 - 14日 競技成績報告会 学生リーダーズセミナー
 - 25日 一般入試・私費外国人留学生入試 (～26日)

- 闘いのスケジュール 2月**
- 2日・第39回九州カップ水泳競技大会 (～3 福岡/福岡市立総合西市民プール)
 - 8日・きららカップ2019 (水泳) (～10 山口/山口きらら博記念公園水泳プール)
 - 16日・第35回コナミオープン水泳競技大会 (～17 千葉/千葉県国際水泳場)
 - 23日・2018年度第14回長崎県春季招待水泳公認記録会 (～24 長崎/長崎市民総合プール)

闘いの記録 11月

- 【柔道】
 - ◆平成30年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 (11/3～4 千葉/千葉ポートアリーナ)
 - ▽男子
 - 60kg級 5位 森田 将矢
 - 73kg級 7位 小林 礼矢
 - ▽女子
 - 63kg級 5位 飯野 鈴々
- 【剣道】
 - ◆第37回全日本女子学生剣道優勝大会 (11/11 愛知/春日井市総合体育館)
 - ▽女子
 - 団体戦 1位 鹿屋体育大学
- 【漕艇】
 - ◆第59回全日本新人選手権大会 (11/9～11 埼玉/戸田ポートコース)
 - ▽女子
 - シングルスカル 2位 四方 美咲
- 【なぎなた】
 - ◆第43回西日本学生なぎなた選手権大会 (11/18 大阪/大阪体育大学 第6体育館)
 - ▽女子
 - 演技競技 2位 三浦・北
 - 試合競技 (団体の部) 4位 三浦・上地 田口
 - 試合競技 (個人の部) 3位 春山 りんか 4位 北 希織
- 【硬式野球】
 - ◆平成30年度第68回九州地区大学体育大会 (11/5～9 福岡/久留米市野球場・久留米大学野球場)
 - ▽男子 2位 鹿屋体育大学
- 【体操競技】
 - ◆2018男子個人総合スーパーファイナル (11/23 群馬/高崎アリーナ)
 - ▽男子
 - 個人総合 4位 前野 風哉
 - ◆第72回全日本体操競技団体選手権大会 (11/25 群馬/高崎アリーナ)
 - ▽男子
 - 団体総合 8位 前野・長谷川 杉野・福本 藤巻・堀内
- 【水泳】
 - ◆FINAスイミングワールドカップ2018東京大会 (11/9～11 東京/東京辰巳国際水泳場)
 - ▽男子
 - 1500m自由形 7位 小林 祐馬 10位 佐貫 省吾
 - 400m個人メドレー 18位 田崎 竜成
 - ▽女子
 - 800m自由形 20位 川崎 碧

平成30年度 卒業証書・学位記授与式のご案内

卒業証書・学位記授与式
日時：平成31年3月25日(月)10時30分～12時00分
会場：鹿屋体育大学水野講堂

卒業生等懇談会
日時：平成31年3月25日(月)12時20分～13時10分
会場：学生会館学生食堂(鹿屋体育大学内)
主催：国立大学法人鹿屋体育大学
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

ありがとうございます
賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

〆一般
カイコー(株)様(三万円)